

発言No.

16

受付No.

16

令和 5 年 2 月 15 日
10 時 16 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番

氏名 足 立 豪

答弁を求める者
(○をつける)

☒市長 ☒教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 保育事業について

我が国の少子化の進行、人口減少は深刻さを増しており、特に少子化の進行は生産年齢人口の減少と高齢化を通じ、労働供給の減少、将来の経済や市場規模の縮小、経済成長率の低下、地域・社会の担い手の減少、現役世代の負担の増加、行政サービスの水準の低下など、結婚しない人や子供を持たない人を含め、社会経済に多大な影響を及ぼす。

社会そのものの構造が大きく変わる中、子育て環境を充実することで保護者も安心して働くことができる。その中で、保育園及びこども園の果たす役割は重要であり、浜田市の子育て環境について質問をする。

(1) 保育園及びこども園について

①現状について

浜田市には、保育園及びこども園が27園あり、総定員は1820名となっている。令和4年3月定例会議において、定員に達していない保育園及びこども園は27施設中15施設との答弁であったが、令和5年4月の予定状況を伺う。

②保育士の配置基準について

令和4年3月定例会議において保育士の配置基準について質問を行い、安心して預けられる保育の充実のためにも基準以上の配置について答弁を求めた。その後1年を経過したが、考えの進捗があるかどうか伺う。

2 地域包括ケアシステムについて

過疎地域である浜田市の高齢化率は 37.63%（令和 5 年 1 月末）に上昇している。厚生労働省においては、令和 7 年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域包括ケアシステム構築の推進に取り組むこととなっている。それを踏まえ、浜田市の地域包括ケアシステムの現状と今後について伺う。

（1）地域包括支援センターの現状について

- ①人員配置状況について
- ②センターの利用状況について

（2）地域包括支援センターの課題について

- ①委託して 1 年を経過しようとしているが、現在の課題について

（3）今後の地域包括支援センターについて

- ①浜田市社会福祉協議会へ委託しているが、充実した高齢者支援を目指し地域ごとにある社会福祉法人等への拡大委託の可能性について